

2023

求人のための大学案内
2024年3月卒業・修了



[八王子キャンパス]
〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1
TEL.042-637-2117

[蒲田キャンパス]
〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22
TEL.03-6424-2121

本学への求人は **キャリアタスUC** からお受けしています。

MAIL jm-qjin@stf.teu.ac.jp (両キャンパス共通)

キャリアタスUCからご登録いただけない求人申込票は「会社書式」「本学指定書式」でもお受けします。
「本学指定書式」は本学ホームページ「採用担当者の方」からダウンロードできます。
詳しくは本学ホームページをご確認ください。

<https://www.teu.ac.jp/>

◆ **デザイン学部**
デザイン学科

◆ **医療保健学部**
臨床検査学科 看護学科 臨床工学科 理学療法学科 作業療法学科

◆ **応用生物学部**
応用生物学科

◆ **コンピュータサイエンス学部**
コンピュータサイエンス学科

◆ **メディア学部**
メディア学科

◆ **工学部**
機械工学科 電気電子工学科 応用化学科

◆ **大学院**
デザイン研究科 デザイン専攻
医療技術学研究科 臨床検査学専攻
バイオ・情報メディア研究科 バイオニクス専攻 コンピュータサイエンス専攻 メディアサイエンス専攻アントレプレナー専攻
工学研究科 サステイナブル工学専攻



ごあいさつ



東京工科大学学長・工学博士
香川 豊
Yutaka Kagawa

変化する社会の要請に対応し、学び続けられる人材を育成しています

東京工科大学は1986年に「豊かな教養と高度の学術を教授、研究し、もって社会の繁栄に貢献できる豊かな人間性と創造的知性を備えた実践的指導的技術者の育成」を建学の理念として開学しました。開学以来、この建学の理念のもと「実学主義教育」を基軸とした実践的な知識や技術の教育を通して、社会や技術の変化に柔軟に対応できる“力(ちから)”を教授し、時代の変化に対応し、社会で役立つ知識とその使い方を身につけた学生を育成することに努めてきました。

最近では、サステナブル社会を実現するために必要な知見や科学技術を駆使した具体的なアプローチ方法、今後の必要性が増すデジタル技術の基礎と応用、デジタル技術を基盤とするIoT技術、を理解し使いこなせる人材の育成にも力を入れています。在学時に、これからの社会で必要とされる課題を理解し、技術力で解決するための社会人基礎力を身につけることを学び、学内外で体験する教育を行い、これらを通して学生が自ら学ぶ姿勢へと導いています。本学で学んだ学生は社会に出た後にも、時代が求める知識を自ら学び続け、常に社会の要請に応えることができる人材であると確信しています。

専門分野

材料強度学、複合材料、高信頼性材料

東京工科大学着任後の職歴

2017年東京工科大学着任、教授、同片柳研究所長、同セラミックス複合材料センター長、東京大学 名誉教授。
2019年東京工科大学副学長。2023年東京工科大学学長、東京大学生産技術研究所 研究顧問。

東京工科大学の教育

アクティブラーニングで、
変化に適応していける実践的人材を育成

「実学主義教育—アクティブラーニング」とは、専門分野の基礎をしっかり教養することで、社会や生活、ビジネスや技術がどのように変化しても、常に適応していける優れた人材を育成することを目標としています。その実践のために、本学では「基本理念」と「四つの具体的理念」を掲げています。

この理念に基づき、次代を担うにふさわしい実践力や創造性、高度なICTスキル、そして国際感覚を身につけた本学出身者たちは、幅広い企業で高い評価をいただいております。

大学生活を単に学問の場とするだけでなく、その先の実社会での活躍に向けて支援する。それが東京工科大学のポリシーです。



八王子キャンパス



蒲田キャンパス

基本理念

生活の質の向上、技術の発展と 持続可能な社会に貢献する人材を育成する

基本理念を実現するための具体的理念

- 1 実社会に役立つ専門の学理と技術の教育
- 2 国際的な教養、豊かな人間性、高い倫理性と創造性の教育
- 3 先端的研究を介した教育とその研究成果の社会還元
- 4 理想的な教育と研究を行うための理想的な環境整備

未来社会に向けて、技術の進化に適応できる力を養う

「実学主義」教育

技術も社会も急速に変化する中、すぐに使える実践的・専門的な能力を身につければ、
即戦力として活躍することができます。

しかし、今後も変わり続けていく社会で大切なことは、実践的・専門的な能力だけではなく、
未来でも活躍していくために欠かせない適応力を同時に身につけること。

東京工科大学は、専門力にとどまらない総合的な力の育成を「実学主義」教育と呼び、教育の柱と考えています。

進化していく未来の技術においても、未永く使える「適応力」を培う

「実学主義」教育

専門知識だけでなく、変化に適応していくために欠かせない
基礎・原理原則、普遍的な教養、豊かな人間性を涵養します。

学部専門教育

教養学環

ラーニング・アウトカムズ

4年間で修得する6つのチカラ

国際的な
教養

実学に
基づく
専門能力

コミュニ
ケーション
能力

論理的な
思考力

分析・
評価能力

問題解決力

コーオペ教育

コーオペ教育とは

大学と企業が連携し、学生の実践力を養成する教育プログラムです。

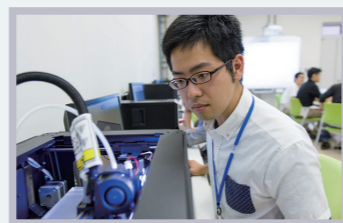
コーオペ教育 (Cooperative Education) とは、1906年に米国のシンシナティ大学工学部で開発された教育プログラムです。これは「学内の授業プログラム」と「学外の就労体験型学修プログラム」を交互に受けるカリキュラムで、北米や欧州で盛んに実施されています。このプログラムを学修する学生は、一定期間企業において有給で「就業体験」を行うことにより大学の単位を修得できます。これによって、従来のカリキュラムでは成し得なかった、社会人としての基礎能力や実践力を身につけることが可能になります。

東京工科大学では、2015年度から工学部においてコーオペ教育を実施しており、2020年度からコンピュータサイエンス学部、メディア学部、応用生物学部の3学部でもコーオペ教育が導入されました。

わが国では昨今、若者の離職率の増加や職業定着率の低下などが見受けられ、学生の主体的な職業選択や高い職業意識の育成が重要な課題となっています。これに対し、学生がコーオペ教育を学修することによって、社会人としての責任感やマナー、実践力や主体的行動力を修得するとともに、学修意欲や就業意識の向上が大いに期待できます。



大学



企業

コーオペ教育とインターンシップ

コーオペ教育は、大学と企業が連携する新しい実学的な教育プログラムです。

大学等におけるインターンシップは、「学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度」であり、その実施形態は、正規の授業科目とする場合、課外活動など大学における活動の一環とする場合、学生が個人的に参加する場合に分かれます。

このような従来のインターンシップと比べてコーオペ教育が違う点は、①一般的なインターンシップより就業期間が長期間であること、②学生に対して賃金が支払われること、③事前・事後の教育を実施するなど、プログラムが体系化されていること、④実習プログラムが産学協働で構築されていることが挙げられます。

特にインターンシップと異なるのは、企業と大学が協働で取り組んでいることで、大学のキャリアコーオペセンターがコーオペ教育の一元的な管理・運営を行い、企業と協働して双方のニーズを盛り込んだ実習プログラムを構築したり、学生と実習を行う企業とのマッチングを実施するなど、さまざまなサポートを行っています。

コーオペ教育における企業のメリット

コーオペ実習を企業が受け入れることで、数多くのメリットがあります。

コーオペ実習を受け入れる企業は、大学教育への貢献という公的な目的以外にも、多くのメリットがあります。学生が長期にわたって労働力として活躍してくれるのはもちろんですが、学生を送り出す大学と企業の接点ができることで、求人や共同研究など、さまざまな場面での関係強化につながります。また、学生がコーオペ実習生を受け入れた企業へ就職するケースもあるので、将来的に見れば、人材を確保できる可能性も高くなるでしょう。

① 労働力として学生が企業に貢献

コーオペ実習で就業する学生は、労働力として貢献することが期待できます。企業と学生のマッチングを行う際は、企業の要望と、学生の希望や能力等を大学が検討しており、実習プログラムも大学と企業が相談して作成しています。

② 企業を活性化し、共同研究へ発展も

学生のフレッシュな感性と、新しいことに挑戦する精神が、企業の現場をより活性化させると考えられます。また、学生がコーオペ実習で学んだ内容を卒業論文のテーマとして選んだ場合、そのテーマが大学との共同研究へと発展する可能性もあります。

③ 企業側のニーズを大学教育に反映させる

産学連携でコーオペ実習プログラムを開発する過程において、企業側のニーズを大学側に伝えることができます。それによって、コーオペ教育をふくめた大学の教育プログラムに、産業分野の新たな動向を踏まえたニーズを反映させることができます。

④ 大学・学生と企業の相互理解を促進

コーオペ教育によって大学と企業の交流が増えることで、お互いの情報発信が活性化すると考えられます。また、コーオペ実習は学生が企業の実態について知るチャンスである一方、企業側からも直接魅力をアピールするための絶好の機会となります。

⑤ 人材の安定的な確保につながる

コーオペ実習は、企業の魅力を学生に伝えるための有力な手段になります。コーオペ実習生を受け入れることで、将来にわたって人材の安定的な確保につながる可能性があります。

⑥ 将来的な早期離職(ミスマッチ)の防止効果

コーオペ実習による長期の就業体験で、学生は企業の現場の実態を理解し、働くことの意義や価値を実感できます。これにより、学生が卒業を迎えて、コーオペ実習を行った企業に入社した場合も、早期離職に至る確率は低くなると考えられます。

インターンシップとコーオペ教育の違い

① 長期間の就業を経験できる

インターンシップの就業期間は一般的に1日から2週間程度と短期の場合が多いですが、コーオペ教育は工学部では約2ヵ月(他学部では3週間)と長期にわたるため、より実践的な就業経験をいただけます。

② 有給で行われる企業実習

短期間で行われるインターンシップは原則として無給ですが、コーオペ教育は就業期間中は企業の労働者の一員として扱われるため、学生に賃金が支払われます。

③ 事前・事後教育など体系化されたプログラム

コーオペ教育は、事前教育→企業実習→事後教育という流れで体系化されている教育プログラムです。これによって企業の現場にスムーズに溶け込み、実習で得た知識や経験をしっかり身につけることができます。

④ 産学協働で構築された実習プログラム

一般にインターンシップは、大学は就業体験の内容に関知しませんが、コーオペ教育は産学協働で行う授業科目という位置づけのため、大学と企業が協力して実習プログラムを作り上げます。

コーオペ教育を実施している学部

工学部

必修科目として、1年次から3年次にかけて行われます。

1年次から事前教育が始まり、社会人基礎力の養成、就業目標の設定や企業とのマッチング、企業活動の基礎学修などを行います。そして2年次から3年次のあいだに約2ヵ月間のコーオペ実習で就業体験を行います。

実習終了後の事後教育では、実習の成果や課題などをまとめて発表する「成果発表会」を行い、学生の学びを企業へフィードバックします。

コンピュータサイエンス学部／メディア学部／応用生物学部

3学部それぞれの選択科目であり、実習を行う期間は約3週間となります。

実習を行う時期は「夏期コーオペ実習」と「春期コーオペ実習」に分かれ、事前教育→企業実習→事後教育という流れで行われます。コーオペ実習前には、学生が安心して実習を受けられるように「顔合わせ・情報交換会」として、企業担当者と学生の顔合わせが行われます。

お問い合わせ先 東京工科大学キャリアコーオペセンター コーオペ教育担当

TEL. 042-637-2126 E-Mail tk-coopinfo@grp.teu.ac.jp

デザイン学部

School of Design

蒲田キャンパス

東京工科大学デザイン学部は、**デザインは実学であることを大切に考えます。**

人に役立つ実践的なデザインの学びの中で、ものの見方や考え方、そして幅広い知識とセンス、スキルを高めます。こうした実学としてのデザイン教育の中で身につけた「集中力」「提案力」「実現力」「取材力」「発想力」「チーム力」を、創造性とチャレンジ精神をもって企業の中で生かせる意欲的な人材を育成します。これらの能力は、企画や開発、そして営業にも役立つものであり、これからは幅広い職種で求められるでしょう。



学部が目指すデザインの力

集中力

モチベーションを高く保ち、手を動かし何度も試し繰り返し考え抜きながらも、一歩離れて観察することのできる集中力を身につけます。

取材力

先入観にとらわれず、自分の足でその場に赴き、自分の眼で確かめ、じっくりと人の話を聞き、そこから課題を分析することを基本としています。

提案力

プレゼンテーションでは「伝える姿勢」まで視野に入れ、相手の関心を探り、理解し、それに対して提案するという意識を学びます。

発想力

普段から広い視野の中で問題意識を持ち、源泉となる多様な引き出しを用意し、自分の切り口で組み合わせます。この経験を繰り返し、発想力を鍛えます。

実現力

ものごとを実現するには、問題解決方法の発見、計画性や柔軟な姿勢が必要です。多様な価値を認めるリーダーシップ力を身につけます。

チーム力

グループ制作では、得意分野で分担しながらも、状況を把握し、方向性を振り返る。個人の力を発揮しながら、組織の中で仕事をしていくスキルを学びます。

カリキュラム 学びの流れ

デザイン学部は2専攻4コース。「視覚デザイン専攻」「工業デザイン専攻」に分かれており広い視野を保ちつつ専門性の高い学修を実現します。表現や発想の根幹となる「感性」とデザイン制作に必要な「スキル」を軸として学修を進め、専門演習では世の中における様々な問題を見出し、その解決のためのデザインを提案する力を身につけます。

1・2年次(前期)

感性教育

「描く」「つくる」を造形基礎、「伝える」「関係づける」をデザイン基礎と位置づけ、それぞれの課題制作を通して、自らの力で感じ考え、手を動かしながら考察する演習です。

2・3年次

スキル教育

感性教育で養った基礎をもとに、デジタル表現技術として、グラフィック系、映像系、工業系、空間系、Web系、UI系ソフトを習得し、専門分野に進む際に必要なスキルを学びます。

2年次(後期)3・4年次

専門教育

感性教育とスキル教育で身につけた基礎力をもとに、視覚デザイン、工業デザインのコースに分かれ、さらに視覚、情報、空間、工業の4つのコースのいずれかを選択し、デザインの専門性を追求しつつ、幅広い職種に求められる、社会やユーザーの問題を解決できる力を養います。

社会で活躍できる力を養うデザイン学部の学び

東京工科大学デザイン学部の特徴は、創造性を育む感性教育と、表現方法を学ぶスキル教育を融合させた、独自のデザイン基礎教育と実践的な専門教育にあります。フィールドワークや学外プロジェクトへの参加など、実践的な学びを通して「学部が目指すデザインの力」を養います。

視覚デザイン専攻

視覚伝達デザインコース

多様な社会を対象に、出来事や考えを視覚的に伝えるデザインを学びます。タイポグラフィー、イラストレーション、画像加工などの専門的な知識や技術を駆使しながら、グラフィックデザインなどの手法を基礎として、webや印刷物、映像などのメディアにおいて、コミュニケーションを創出するデザインを提案します。



視覚情報デザインコース

自ら問題を発見し、対象を調査、分析して多彩なメディアを使いながら「目に見えない情報」を可視化・可聴化・体験化するデザインについて学びます。インターネット、デジタルデバイスのためのコンテンツ・アプリケーションの企画とデザインのために、必要な知識と知見を深め、情報社会の中にある課題をデザイン+テクノロジーで解決することを目指します。



工業デザイン専攻

工業ものづくりデザインコース

機器、家具、ステーションナリー、雑貨など日常生活の中で使われる製品を主な対象とし、将来のライフスタイルをイメージした製品や機器などのプランニング・提案を行います。単なるプロダクトの提案だけでなく、システム構築やサービスデザイン、ブランディングなどのデザインマネジメント全般を含めた考察を深めていきます。



空間演出デザインコース

人と人が出会う場としての、住居や公共施設・商業施設、インテリア・エクステリアから地域コミュニティ、さらには地球環境までを対象とし、将来の暮らしのあり方をイメージした様々な空間の演出・企画を学びます。デジタルシミュレーションやプロジェクションマッピング、映像などの手法を用いて、新たな空間デザインを追求していきます。



医療保健学部

School of Health Sciences

蒲田キャンパス

コミュニケーションとコラボレーション能力に優れ、医療を支える 科学技術やICTの理解に秀でた医療専門職を育成しています。

今日のチーム医療では、自立した医療専門職間の役割分担と協働が、ますます求められています。本学部で教育するコミュニケーションとコラボレーション能力には、患者さんや医療スタッフ間だけでなく社会との情報伝達・相互理解・協働などの能力も含まれます。

またこれからの医療機器は、ICT（情報通信技術）と一体化することで、患者さんを地域医療システム全体で支えるようにもなります。本学部では理工系総合大学としての実績を活かし、医療を支える科学技術とともに、コンピュータや情報セキュリティなどICTの基礎、そして医療における人工知能（AI）やデータサイエンスの可能性も教育します。

ものづくりと国際空港の街、大田区に根ざした本学部では、地域のひとびとの健康増進と国際貢献双方に意欲ある医療専門職を育成しています。



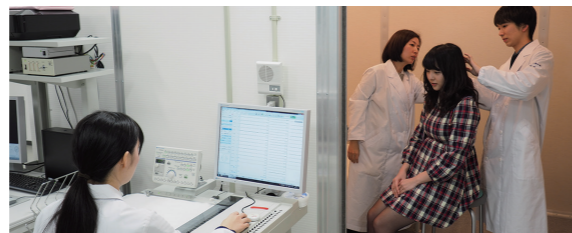
臨床検査学科

臨床検査データ解析のスペシャリストである臨床検査技師

医療の細分化や検査の高度化が進む現在、臨床検査技師は医療の現場で不可欠な存在です。

1・2年次では基礎教養とともに臨床検査の基礎科目を学び、実習を経験します。3年次の臨地実習では最先端医療を展開する病院と連携し、臨床検査技師の主な業務を体験します。必要な知識、スキルだけでなく、社会人としてのマナーに至るまで身につけます。4年次には卒業研究として興味のある分野で臨床検査に関わるさまざまな研究を行い、その過程で今後の医療人として成長していく礎となる学術的探究心を培います。

臨床現場での実践力だけでなく、さまざまな課題に対する問題解決能力や人間性を養う土壌を育むために、PBL (Project Based Learning; 問題解決型授業)、ルーブリック (Rubric; 評価指標と評価基準を示した成績評価法)、臨地実習前OSCE (Objective Structured Clinical Examination; 客観的臨床能力試験) への取り組みなど、細かな工夫がされています。これらの学修を通じて実践能力を養い、医療の現場で的確に行動できる高い人間性を持った人材、臨床検査学の将来の発展に貢献できる人材、社会や経済あるいは技術の変動に適應できる柔軟な人材を育成しています。



看護学科

SDGsの実現のために、多様なニーズに応えられる看護

患者さんの気持ちに寄り添い、自助力を高めて、その人なりの健康レベルを保持増進する看護はSDGsの実現に貢献します。社会の多様なニーズに応えられるために、幅広い視点から看護を学べるカリキュラムを実施しています。電子カルテや医療機器の操作に必要なスキルを学ぶとともに、模擬患者による演習では現場を再現した4床の模擬病室を用意し、臨床で同時進行する事態への対応をトレーニングします。

また、学科を越えて連携協働し、ICU等の高度な設備を使いながらの実習など、リアリティ・ショックに対応できる看護を体得させています。医療技術を自主的に確認できるe-Learningシステムや高機能シミュレーターを活用したプログラムを組んでいます。

訪問看護・産業看護・国際看護にも視点を置き、多様な場や対象の方々に対し自分で考え実践できる“オールラウンダー”としての看護職をめざし、学生を養成しています。



臨床工学科

医療と社会の変化に対応可能な特色ある臨床工学技士

医療制度改革、地域医療構想の策定が進む昨今、臨床工学技士を取り巻く環境も変化しています。このような状況の中、臨床工学技士は医療機器の専門家としてチーム医療の一翼を担い、医療技術の進歩に追従していくことはもちろんのこと、在宅医療等の新規開拓分野へも関与していかなければなりません。

1年次から実践力を養うための病院見学や企業見学を実施し、3・4年次では医療マナー講座やビジネススキル講座等、テクニカルな部分だけではなくノンテクニカルなスキルを磨き、主体性をもって自らの課題を克服できるような特色あるプログラムを実施しています。充実したカリキュラムと首都圏の多彩な医療機関で体験できる臨床実習など、豊富な医療機器と恵まれた実習環境の中で実践能力を高めることで、医療と社会の変化に対応可能な、向上心と使命感を持つ臨床工学技士を養成しています。



リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 (一期生:2025年3月卒業予定)

医療保健学部ではこのたびリハビリテーション学科言語聴覚学専攻を新設開講しました。

本学のモットーである実学主義のもと、大学の特色を生かしてICTを駆使し、1年次から多岐にわたるグループワーク、学内演習や見学実習・臨床実習と、段階的な実践的カリキュラムによって実社会に適応する言語聴覚士を養成しています。

専門家として確かな知識と技術に支えられた実践力だけでなく、医療チームの一員として専門力を発揮できるコミュニケーション力と柔軟性のある人材を育てています。



理学療法学科

「豊かな人間性」と「生かせる技術」を持った理学療法士

理学療法学科のカリキュラムは、1年次から臨床実習があり、医療人としての態度や礼節を早期に身につけ、その後の学内教育で高い目的意識をもって取り組めるように構成されています。また、1年次にも積極的に専門科目を配分し、早期から基本的技術や専門知識の修得に努めさせ、卒業生がすぐに現場で活躍できることを目指して教育を進めています。

4年次には大学における学修のまとめとして卒業研究を主体的に行うことで高い学術的能力を養い、卒業後も科学的根拠に基づいて臨床実践を行える理学療法士の育成を目指しています。

近年は、語学に優れた講師陣の持つ海外とのパイプを生かして、国際的な感覚を持った人材育成にも注力しています。



作業療法学科

知識・技術・実行力を備え、人間性豊かな作業療法士

作業療法の実践に必要な知識と技術を備え、自身の特性と個性を発揮して保健医療福祉の多彩なニーズと多様な場面で活躍できる作業療法士の養成を目標に、教育指導体制を整えています。知識・技術の基盤作りを支える学内教育と、早期からの臨床場面、実践場面での体験実習から評価実習、総合実習へと段階的に配置された臨床実践教育が、学生教育のコアとなっています。これらは、経験豊かな教員と実績のある協力実習施設との緊密な連携によって進められていきます。少人数体制により実現できる教員と学生の人間関係は、学生の個性と感性を磨き、利用者の立場に立って、お一人お一人のリハビリテーション課題を解決していく専門職の一員となるように学生を育てていきます。



応用生物学部

School of Bioscience & Biotechnology

八王子キャンパス

生体のもつ優れた機能を追究し、産業応用することができる実践的な人材を育成しています。

本学部は、生命科学・医薬品専攻と食品・化粧品専攻から構成されています。両専攻とも産業界で活躍できる人材を育成するため、以下のカリキュラムで教育を行っています。

- ①1、2年次では、主として幅広い教養科目と生物・化学を中心とした専門基礎科目を学びます。
- ②3、4年次、生命科学・医薬品専攻には、生命科学コース、医薬品コース、食品・化粧品専攻には、食品コース、化粧品コースが用意されており、将来の目標や興味に合わせてコースを選択します。

そして、専門的な講義や演習・実習、卒業研究を通して、専門分野を深く追求していきます。

本学では国際的な教養、実学に基づく専門能力、コミュニケーション能力、論理的思考力、分析・評価能力、問題解決力をラーニング・アウトカムズ(学修の成果)と定めて、4年間でこれらの能力を身につけます。



生命科学・医薬品専攻

生命科学コース

生物が持つ優れた機能を巧みに応用し、医療や環境保全に役立てるための知識・技術を学び、生命科学分野と環境分野に役立つ人材を育てています。「生命科学分野」では再生医療などに利用される生体機能材料や、生体分子と計測技術を融合させた病気診断用バイオセンサーなどの健康医療産業、「環境分野」では微生物を使った環境浄化や、マイクロプラスチック対策、廃棄物利用、遺伝子組換え技術を活用した砂漠の緑化などのSDGs達成を主眼においた課題について、それぞれの研究開発の基盤(原理、技術的背景)を学んだうえで、最先端の研究進歩をキャッチアップしています。日進月歩で発展するバイオテクノロジーを深く学ぶことにより、学生自らが考え試行錯誤と本質を見極める体験を積み重ね、実力と自信を培います。

医薬品コース

最先端のバイオテクノロジーを応用して、人々の健康を支える医療システムの開発や、医薬品を創製する技術を追求します。遺伝子組換え技術や細胞工学技術などの生物的アプローチに加え、生物と化学との融合による新しい創薬技術など、現在、最も注目されているバイオ医薬品を学び幅広い開発に貢献する技術を身につけます。核酸医薬、タンパク質医薬、遺伝子診断、再生医療、ドラッグデリバリーシステム(DDS)の創製などの研究を通し、専門的な知識や技術はもちろんのこと、困難な問題に直面した時に解決方法を見出すための「対応力」や「柔軟性」も育てます。

食品・化粧品専攻

食品コース

人々の健康をサポートする新しい食品の開発および食品の品質管理に、最新のバイオテクノロジーを活用し取り組みます。食品のおいしさや生理機能、安全性を解析し、高齢化社会において、人々がより健康的な生活を送るのに役立つ画期的な機能性食品の研究開発を通して、食品製造の最前線で活躍できる実力を伸ばしていきます。食品科学や栄養科学、機能性食品学など主要な科目を体得し、専門研究の土台を築きます。本コースを修了した場合には、食品衛生管理者、食品衛生監視員の国家資格が取得できます。

化粧品コース

皮膚・毛髪と化粧品に関する知識・技術を実践的に学んでいます。皮膚科学・毛髪科学を中心に、美白・抗老化・育毛などの有効成分開発に関わる分野、乳液やファンデーション、口紅などの化粧品を設計するための分野、化粧品心理の分野に対する知識を体系的に身につけます。教員には化粧品メーカー出身者が多く、皮膚や毛髪の基礎研究を通じた有効成分開発や、新たな化粧品材料の開発を手掛ける研究など、最先端の化粧品の研究開発に触れる機会が多く与えられています。実際に企業との接点がある研究室も多く、より実践的な学識とスキルを習得した、エキスパートを育てています。

コンピュータサイエンス学部

School of Computer Science

八王子キャンパス

激変する時代に、幅広い視野・柔軟性・チャレンジ精神を備え持ち、社会の最前線で活躍し続けることのできるICTスペシャリストを育成します。

ICTの進歩により社会は激変しています。

そのような社会的にも技術的にも先が見通せない情勢において、変化に対応するだけでなく、

新しいニーズと価値を生み出せるエンジニアこそが高い評価と信頼を獲得し、社会に必要とされる人材として求められています。

このような考えのもと、

学生たちはコンピュータやネットワークの仕組みや計算の原理から

先端ICTスペシャリストに必要な基礎学力を身につけるとともに、

PBLやアクティブラーニングによる主体的な学びを通じて、

将来にわたって継続的に最先端分野で働くことができる能力を培っています。

本学部では、ICTの専門知識やスキルを生かしたシステムの提案・開発を学ぶ「先進情報専攻」と、

AIを利用した革新的ビジネスやサービスの創造を学ぶ「人工知能専攻」とからなる2専攻を

教育・研究の基盤として、新時代を切り拓くことのできるICTスペシャリストを育成しています。



先進情報専攻

先進情報専攻では、情報セキュリティ、IoT、クラウドを3つの大きな技術と位置付け、先端ICTの知識やスキルを修得し、高度な技術力をもつ技術者やハイエンド・プログラマーとして社会が求める真のICTシステムやサービスを創造できる人材を育成します。このために、プログラミング能力・技術を身につけると同時に、コンピュータやネットワークの動作原理を基本から理解し、ICT技術全般について学びます。その後、複数のプログラミング言語と実践的なシステム設計・開発技法を学び、現在のICT社会が使っているリアルな技術を実験・実習を通して修得します。このように、ICT技術の本質を学び、社会が必要とする技術の修得は、我が国の科学技術の礎となるものであり、卒業後は情報産業の中核エンジニアに留まらず、社会が求める「技術者をリードできる真の技術者」になることを目指します。

人工知能専攻

人工知能技術は、近年、急速な発展をとげ、今後は広範な領域で社会の基盤となってゆくことが予想されます。自動運転車等の工業製品に組み込まれてゆくだけでなく、すでに、生産の自動化、医療、教育等の分野で、大きな成果をあげつつあります。また、商品やサービス提供の最適化を図り、金融取引を自動化する目的に利用されるなど、社会・経済を構成する主要要素となっています。このような背景から、人工知能専攻では、(1)人工知能技術自体の体系的な修得、(2)人工知能技術の社会への移転方法の修得、に焦点を絞り、これからの社会を担う中核人材の育成を目指します。具体的には、深層機械学習を中心とする基礎技術、プログラミングをはじめとするICT技術、および、社会の産業構造と価値創造過程の理解を共通の基礎とし、ビッグデータ、ヒューマンマシンインタフェース、知的ロボット技術を、多くの実習を通じて学ぶことにより、学生の社会への飛躍を支援します。

メディア学部

School of Media Science

八王子キャンパス

急速に進化するメディアの知識と技術・スキルを学修し、実践力と創造性に優れたメディアエキスパートを育てています。

メディア学を、コンテンツ・社会・技術の3要素から体系的に学びます。

それらを通して、デジタルメディア技術とICTの活用能力も身につけます。

メディア学部独自の演習方法である「プロジェクト演習」では、

学年を越えたチームで活動し、産学連携のプロジェクトも多いため、

企業において必要なコミュニケーション能力や問題解決力も身につけます。

キャリア教育には学生同士で評価・分析する課題が含まれており、

「批判的思考力」が養われます。

また、メディア基礎演習では、

コンテンツ、技術、社会のテーマをバランスよく配置しており、

デジタルコンテンツの扱い方、プログラミングの基礎や機械学習の体験、

そして、課題発見・調査・分析・ディスカッション・プレゼンテーション・レポート作成など、

デジタル社会で活躍する人材に必要な素養を全学生が早期に身につけます。

メディア学部では、人と人、人と社会をメディアによって結ぶ技術や方法論や実践例を

著作権の知識も含めて学修し、

技術や社会環境が激変しても活躍し続けられる力を身につけます。



メディアコンテンツコース

社会や企業の活動などを豊かに展開させるメディアコンテンツの企画・制作・配信ができる能力を持った人材を育成しています。

ゲーム・アニメーション・映像・CG・音楽・Webなどを具体的な対象とし、それらの制作方法や制作技術などに重点を置いて学びます。さらに、高度で優れたソフトウェアを制作の道具として使いこなす演習や研究を通して、具体的な目標に向けてICTを駆使する能力を修得させます。

メディア社会コース

メディア社会コースは、社会とメディアの接点を見つめ、人々に貢献するサービスやビジネスを形にしていこうと目指しています。

主な研究分野は、社会情報技術、ソーシャルデザイン、デジタルジャーナリズム、広告マーケティングの4つです。ソーシャルメディアの発展などによって、社会は大きく変わりました。そうしたなかで、メディア社会コースでは、持続可能な社会の実現に向け、多様性を尊重した、革新的な提案を行える人材を育成しています。

メディア技術コース

メディアの最先端技術を用いて、豊かで便利なメディア社会の実現に貢献する技術を学ぶコースです。コンピュータやスマートフォンを便利に使うインターフェース、双方向通信、グラフィカル・ユーザー・インターフェースなどを専門演習内で学びます。これらの演習を通してアプリケーション・音響・音声対話・ゲーム入出力デバイスなどに関する幅広い知識と技術を身につけ、視聴覚情報処理に関する高度な理論と実践的技術を駆使して多彩なビジネス・産業分野で活躍できる人材を育成します。

工学部

School of Engineering

八王子キャンパス

**21世紀に生まれた新しいコンセプトの「サステナブル工学」分野を
発展させ、応用できる工学スペシャリストを育成しています。**

20世紀の科学技術の進歩は人々の生活の質の向上をもたらした一方で、資源の枯渇や環境破壊などの多くの問題を引き起こしました。

そこで現代では持続的成長（サステナブル）社会を構築するための新しい工学技術が求められています。工学部では日本で初めて「サステナブル工学」の実践を理念として掲げ、サステナブル工学の基礎から応用までを身につけた人材育成を行っています。

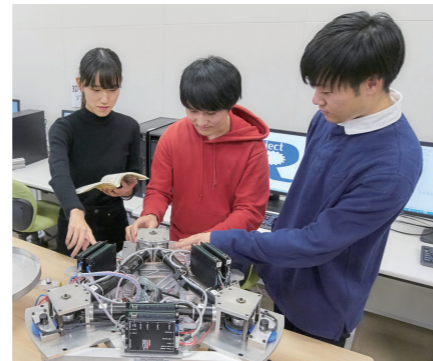
そのために以下のような特色ある実学教育を行っています。

- ①サステナブル工学の知識と技術を応用できる能力の育成
- ②コーオプ教育^{※1}による実践力、人間力の育成
- ③グローバル教育による豊かな教養と国際性の育成

サステナブル工学教育ではまずLCAの基礎を学び、次いで3学科合同のグループワークにより、デバイス、システム、マテリアルの観点から身の回りの製品のLCAを行い、製品の改善提案を発表し、LCAの実践力を身につけています。コーオプ教育では社会人基礎力や企業論などの事前学習の後、約8週間企業で就業体験を行い、現場での適応力、課題発見力などの企業での実践力を身につけています。グローバル教育においては専門科目や工学英語科目により実用英語力を身につけ、技術英検などの資格取得を目指しています。

実学主義に基づいたものづくり体験と地域連携課題等を通して身につけたコミュニケーション力とおして、広い視野からSDGsを推進しサステナブル工学を実践できるエンジニアを育成しています。

※1 コーオプ教育について、詳しくは本誌3、4ページをご覧ください。



機械工学科

サステナブル社会を支える先進的な機械システムを構築します。

輸送機器・精密機器・産業用機器、さらにはロボットやマイクロマシン、医療用機器など、機械工学はあらゆる産業や生産活動を根本から支えています。

機械工学科は、機械・電気電子・システムなどの要素技術に関する知識に加え、先進的なシステムの開発に欠かせない専門知識と技術を修得する学科です。

機械の強度設計や性能設計に必要な力学や製図、加工技術などに関する幅広い技術を身につけ、持続可能な社会の実現を目指すサステナブル工学のコンセプトに基づき、新たな機械システムを創造する人材を育成します。



電気電子工学科

産業や暮らしの未来を最先端の電気電子工学で切り拓きます。

太陽電池や電力ネットワーク、家庭・産業用の電気機器やコンピュータ・AI機器、そして機器に組みこまれた微細な電子部品まで、電気電子工学は電気を使用するあらゆる分野で役立ち、豊かで安心な生活を創造する原動力となっています。

電気電子工学科では、電気・電子回路や電気磁気学などからコアとなる基礎科目を学び、さらに電力機器・エネルギー・電子デバイス・センサー工学といったさまざまな専門科目を修得します。この電気電子工学の技術を、持続可能な社会の構築に必要なキーテクノロジーと位置付け、高度な専門知識と技術を持って先進的な電気電子システムを創造する人材を育成します。



応用化学科

省エネルギーでエコロジータ社会に貢献できる先進的材料を創造します。

化学は、原子・分子レベルで設計・合成を行い、天然にはない優れた機能を持つ先進的材料を生み出します。

応用化学科では、有機・無機・バイオ・高分子などの化学の基幹分野を、サステナブル工学の観点から協調・融合させて、地球環境や社会に負荷を与えない材料の創造を追究します。また、それらを用いて省エネルギーに貢献する先進的なデバイスやシステムの実現を目指します。化学工業・石油産業、食品・化粧品産業、自動車産業、半導体・電気電子機器製造業などの幅広い分野で、サステナブル工学の知識と技術を応用して活躍できる技術者・研究者を育成します。



大学院

School of Graduate

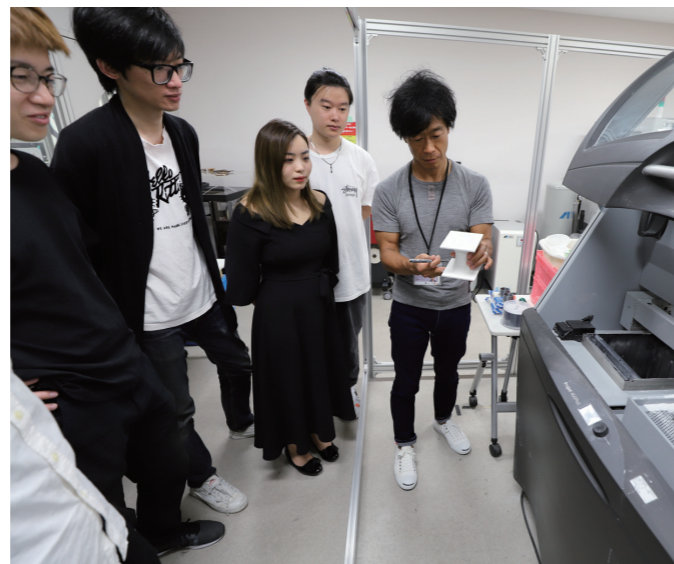
蒲田キャンパス

イノベティブで実践的な研究活動を通じて、
新しい知識の創出と人材教育をめざしています。

デザイン研究科

◇デザイン専攻

「生活の質を高める」実学としてのデザイン教育と研究を基盤にし、持続可能な社会の構築に貢献する人材の育成を目指しています。今日のデザインでは、実社会の課題解決に対して豊かな発想力と造形力によって表現することが求められています。そのため本研究科では将来的な実装を目標に、レベルの高いデザインスキルを備え、デザイン提案として広く発信できる人材を育成することを目的とし、国際的な場でも通用するコミュニケーション能力、計画を遂行するためのマネジメント力、分析評価能力と独創的な企画力、問題解決力などの様々な研究能力を併せ持ち、これからの社会で幅広く実践的に活躍できる、職業人としての次世代のデザイナーの輩出を目指しています。



医療技術学研究科

◇臨床検査学専攻

2021年4月に新設された医療技術学研究科臨床検査学専攻では、社会のニーズに対応できるよう、臨床検査の専門的な知識や技術を臨床の現場で活用できる人材、および他職種とのスムーズな連携に必要なコミュニケーション能力をもち、円滑に適切な医療を提供できる人材を育成することを目指しています。また臨床検査分野だけでなく、最先端の医学・医療技術の知識、医療制度や社会保険制度など実践的で幅広い知識を修得することで、将来リーダーとして活躍する人材を輩出します。



八王子キャンパス

バイオ・情報メディア研究科

◇バイオニクス専攻

医療・医薬品、食品、化粧品、環境の各分野において、先進的科学技术を取り込んだ新しい知識や価値を創造するチームまたは個人型研究を推し進めています。研究手法は化学、生化学、分析化学、細胞生物学、分子生物学、微生物学、生物情報科学等の基礎技術をベースにしつつ、新しい手法の開発にも積極的です。その研究は片柳研究所バイオナノテクセンターに設置の最高水準理化学機器によって強力に推進されており、教員と学生が一体的に取り組む各分野のユニーク研究は、成果として社会への還元が期待されています。この特徴ある教育と研究プログラムによって、本専攻は発想力や協調性の豊かな、そして社会変化にも柔軟に行動する人材を育成します。そして社会で必要とされる人材を輩出します。

◇メディアサイエンス専攻

ワークショップ型の講義を中心とし、メディア関連企業・自治体やクリエイターらと連携して、多くの大規模な創造的プロジェクトに取り組んできました。産学・地域連携を図りながら、学生と教員が積極的に議論を交わし、調査・成果発表・制作で専門スキルを身につけます。専任教員や客員教授が実施するプロジェクトへ、インターンシップとして参加する機会も多々あります。デジタルサイネージやモーションキャプチャをはじめとする先端設備を備えているので、確かな技術を取得した人材が育っています。

◇コンピュータサイエンス専攻

社会のインフラとして、安心・安全かつ環境にやさしい情報システムの実現に向けて、産業界出身者を交えた教育・研究体制の下、高いコンピテンシーを備える技術者・研究者を輩出する教育に努めています。コンピュータサイエンス・リサーチセンター、クラウドサービスセンターなどの最先端の研究設備を擁し、人工知能の基礎・応用研究、クラウドサービスの実践と研究、および将来の社会インフラの実現に対応できる分野横断のさまざまな先端研究を推進しています。これらの研究を通し、次世代を担う高度IT人材を育成しています。

◇アントレプレナー専攻

新規事業の創出・企業内ベンチャー・起業家(アントレプレナー)をキーワードに、バイオニクス・コンピュータサイエンス・メディアサイエンス分野などの最先端技術を事業化する能力を育成します。財務・知財・マーケティングなどの知識をもとに、事業を創造・イノベーションする手法を学びます。講義・グループプロジェクト・研究指導(論文、ビジネスプラン作成)を通し、起業家・ベンチャーキャピタリスト・各分野の専門家などを招聘して議論を行い、院生自身のビジネスプランを具体化させます。

工学研究科

◇サステイナブル工学専攻

分野横断的な新しい工学分野であるサステイナブル工学を発展させ、SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の達成に寄与する人材の育成を目指します。そのために工学の各分野(機械工学・電気電子工学・応用化学)を広く横断的に学び、自分の専門を軸足としつつ他分野の専門的知識を持つπ型人材を育成しています。これからの社会には超スマート社会(Society5.0)やスマートファクトリー(Industry 4.0)の構築に必要なIoT(Internet of Things)、AI(人工知能)・機械学習、ロボット、新素材などの幅広い視野が必要です。様々な情報や技術を使いこなし、課題・問題を解決するための実践力として高度な専門知識と技術、論理的思考力、分析評価能力、コミュニケーション能力を身につけた人材を輩出しています。



出身

都道府県別出身者一覧

2024年3月卒業・修了見込学生数(2022年9月1日現在)

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県
デザイン学部	6	1	1	3	1	1	3	11	2	5	27	19	56	50	1				1	5	1	3	3				1	2		1	
医療保健学部	臨床検査学科	2				1	2	1	1	1	10	4	13	26	1		2		1	1		3									
	看護学科	3					2	3	3	1	13	8	41	47	1	1			2	2		3									
	臨床工学科	3	1			1	2	1	2	1	1	12	6	19	16	1	1	2		2	2	1									1
	理学療法学科						1	2	3			13	7	26	24					1	4										
	作業療法学科		1				1	4				7		11	8							1									
応用生物学部	1	1		6		6	2	8	7	6	34	7	78	52	6	2		1	3	5	1	17	1		1				2		
コンピュータサイエンス学部	6	2	4	4		2	2	7	7	5	50	9	93	69	4	2			10	10		6	4	1			1	1			1
メディア学部	5	5	1	1	1	3	3	11	7	11	32	16	86	66	7	3			4	10	1	10	6				1	3		1	1
工学部	機械工学科	1		1			3	1	1	2	21	6	30	21				1	4	3		5	1		1		1				
	電気電子工学科	1	1	1		1	1	1		2	16	5	20	23	2	1			8	3	1	4	1								
	応用化学科	1		1	2			1	1	3	9	1	30	13	2				1	2	2	4	1		1	1	1				1
大学院		3	1	3				4	2	1	10	3	34	22	4					1		7	1	2			1				
小計	29	15	10	19	4	16	21	56	35	38	254	91	537	437	29	9	3	4	35	48	8	64	18	3	3	1	6	8	0	2	4

	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	小計	海外	中国	台湾	香港	韓国	マレーシア	ベトナム	インドネシア	タイ	サウジアラビア	パラグアイ共和国	ミャンマー	小計	合計
デザイン学部	1								3			2	1		1	1	213													0	213
医療保健学部	臨床検査学科																69													0	69
	看護学科								1							1	132									1				1	133
	臨床工学科		1														76													0	76
	理学療法学科																81													0	81
	作業療法学科												1				34													0	34
応用生物学部				1	1				1		1	2	1		1	4	259		5			1	1							7	266
コンピュータサイエンス学部			1			2			2	1		2			1		309		5			2		2				1		10	319
メディア学部		1	6	2	2	1	1	1	7	1	2	1	1	1	1	1	324		4		1	1							6	330	
工学部	機械工学科					1											105		2				1							3	108
	電気電子工学科		1														93		1											1	94
	応用化学科				1												79													0	79
大学院		2	1						2				1	1		1	107		36	1				1	1	3	1		44	151	
小計	1	5	8	4	3	4	1	1	16	2	3	7	5	2	4	8	1881		53	1	1	4	2	3	1	1	4	1	72	1953	

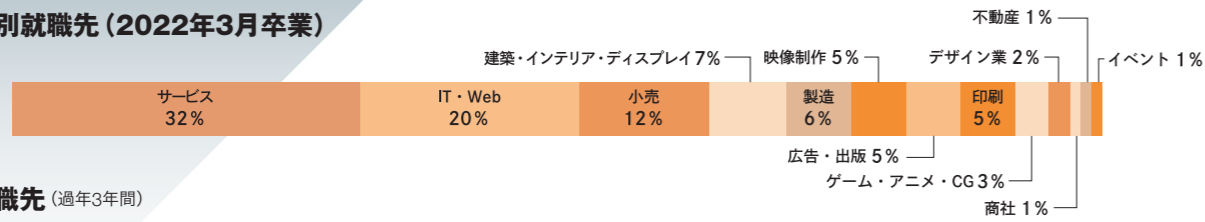
1802名卒業・151名修了見込

就職実績 蒲田キャンパス

就職率=就職決定者数/就職希望者数
※各数値は四捨五入しています

デザイン学部

■業種別就職先(2022年3月卒業)



主な就職先(過年3年間)

アシックス/穴吹興産/イオンリテール/エヌ・ティ・ティシステム開発/オムロンソフトウェア/グリーンディスプレイ/システナ/JAF/ジェー・シー・スタッフ/ジーク/JVIS/JINS/さいたま農業協同組合/ソニーミュージックグループ/大創産業/タマホーム/電通オンデマンドグラフィック/東京アート/東京ガスファシリティサービス/東京サウンド・プロダクション/東急Re・デザイン/ドリーム・アーツ/中村オートパーツ/ナビビドットコム/パルグループホールディングス/Plott/ホンダテクノフォート/ワヨー/一条工務店/NTTデータSNS/カインズ/クスリのアオキ/コーナン商事/コナミ・デジタルエンタテインメント/島忠/ゾフ/たき工房/ティファナ・ドットコム/東京アドデザイナーズ/東京インテリア家具/富士通ゼネラル/ファミリーマート/メンバーズ/ユザワヤ商事/アクセア/あとらす二十一年/映像センター/オールアウト/カインズ/キヤノンファインテックニスカ/QVCジャパン/クラウン・パッケージ/ココヨ/昭栄美術/セブーン・イレブン・ジャパン/セルタン/ティー・ワイ・オー/天馬/日本経済広告社/日本創発グループ/八芳園/東日本電信電話/富士ソフト/フジマック/防衛省自衛隊/ヨドバシカメラ/リコージャパン/良品計画 ほか

就職率

98%

2022年3月
卒業生実績

医療保健学部

主な就職先(過年3年間)

IMSグループ/永寿総合病院/神奈川県立病院機構/神奈川県予防医学協会/国立病院機構関東信越グループ/越谷市立病院/埼玉協同病院/順天堂大学医学部附属練馬病院/湘南藤沢徳洲会病院/総合健診センターヘルチェック/千葉大学医学部附属病院/獨協医科大学埼玉医療センター/戸田中央メディカルケアグループ/日本医科大学付属病院/平塚市民病院/横浜市医療局病院経営本部/EP総合/栄研化学/LSIメディエンス/江東微生物研究所/ビー・エム・エル/亀田総合病院/河北総合病院/榊原記念病院/順天堂大学医学部附属順天堂医院/昭和大学/玉川病院/千葉徳洲会病院/東京医科大学八王子医療センター/東京慈恵会医科大学附属第三病院/東京高輪病院/東京都立病院機構/東京ベイ・浦安市川医療センター/横浜市立みなと赤十字病院/保健科学研究所/鷺谷健診センター/柏厚生総合病院/新宿健診プラザ/聖マリアンナ医科大学/セコメディック病院/総合病院水戸協同病院/東海大学医学部付属病院/東京医科大学病院/東京品川病院/東京都予防医学協会/富山大学附属病院/三井記念病院/横浜南共済病院/エスアールエル ほか

就職率

100%

2022年3月
卒業生実績

看護学科

看護師 神奈川県立精神医療センター/河北総合病院/川崎幸病院/川崎市病院局/関東労災病院/北里大学病院/けいゆう病院/がん研究会有明病院/済生会習志野病院/済生会横浜市東部病院/済生会横浜市南部病院/埼玉県立病院機構/さいたま赤十字病院/順天堂大学医学部附属浦安病院/昭和大学病院/昭和大学横浜市北部病院/総合東京病院/千葉大学医学部附属病院/東京医科歯科大学病院/東京医科大学病院/東京医療センター/東京北医療センター/東京慈恵会医科大学附属第三病院/東京品川病院/東京女子医科大学病院/東京都済生会中央病院/東邦大学医療センター大森病院/虎の門病院/都立墨東病院/都立松沢病院/日本医科大学/日本大学医学部附属板橋病院/三宿病院/三井記念病院/大和市立病院/横須賀共済病院/横須賀市立うわまち病院/横浜市立大学附属病院/横浜市立大学附属市民総合医療センター/横浜南共済病院/荏原病院/国立成育医療研究センター/順天堂大学医学部附属練馬病院/昭和大学江東豊洲病院/東京共済病院/東京警察病院/東京慈恵会医科大学附属病院/都立小児総合医療センター/日本大学病院/ねりま健育会病院/原宿リハビリテーション病院/慶応義塾大学病院/国立災害医療センター/順天堂大学医学部附属順天堂医院 ほか

就職率

99%

2022年3月
卒業生実績

医療保健学部

保健師 神奈川県/世田谷区/横浜市/警視庁/コーセー/東日本電信電話/東日本旅客鉄道/日立製作所/富士通/三菱重工業 ほか

臨工 床 学 科

上尾中央医科グループ/IMSグループ/かもめ・みなとみらいクリニック/川崎駅前クリニック/慶應義塾大学病院/湘南藤沢徳洲会病院/医療法人社団善仁会/東京品川病院/東京西徳洲会病院/獨協医科大学埼玉医療センター/アポットメディカルジャパン/ウィン・パートナーズ/ニプロ/神奈川県立病院機構/亀田総合病院/かわぐち心臓呼吸器病院/神戸大学医学部附属病院/湘南鎌倉総合病院/昭和大学横浜市北部病院/立川病院/千葉県病院局/千葉大学医学部附属病院/東京医科歯科大学病院/東京大学医学部附属病院/東京都立病院機構/三井記念病院/足利赤十字病院/大阪大学医学部附属病院/京都大学医学部附属病院/杏林大学医学部附属病院/神戸市民病院機構/埼玉医療センター/順天堂大学医学部附属順天堂医院/筑波大学附属病院/東京慈恵会医科大学附属病院/東名富士クリニック/戸田中央メディカルケアグループ/虎の門病院/日本医科大学武蔵小杉病院/船橋市立医療センター/横浜市立市民病院/横浜市立大学附属市民総合医療センター/横浜市立みなと赤十字病院 ほか

就職率

97%

2022年3月
卒業生実績

理 学 療 法 学 科

上尾中央医科グループ/麻生リハビリ総合病院/IMSグループ/医療生協さいたま生活協同組合/汐田総合病院/柏厚生総合病院/蒲田リハビリテーション病院/川崎幸病院/熊谷総合病院/江東リハビリテーション病院/国立病院機構関東信越グループ/済生会東神奈川リハビリテーション病院/医療法人社団鎮誠会/JCHO東日本/品川リハビリテーション病院/湘陽かしわ台病院/新横浜リハビリテーション病院/茅ヶ崎徳洲会病院/東京慈恵会医科大学附属病院/戸田中央メディカルケアグループ/西横浜国際総合病院/練馬光が丘病院/博慈会記念総合病院/浜田山病院/船橋整形外科病院/平成横浜病院/牧田総合病院/横須賀共済病院/横浜新緑総合病院/池上総合病院/大宮中央総合病院/柏市立柏病院/社会医療法人河北医療財団/かわさき記念病院/小林整形外科・外科/榊原記念病院/佐々木病院/湘南慶育病院/セコメディック病院/世田谷記念病院/医療法人社団苑田会/つくばセントラル病院/東京慈恵会医科大学附属第三病院/練馬駅リハビリテーション病院/春山記念病院/初台リハビリテーション病院/町田慶泉病院/大和徳洲会病院/医療法人社団祐昇会/海老名総合病院/川崎市病院局/行田総合病院/済生会湘南平塚病院/山王病院/JAとりで総合医療センター/慈生会徳丸リハビリテーション病院/湘南鎌倉総合病院/聖隷横浜病院/村山医療センター/明生リハビリテーション病院 ほか

就職率

100%

2022年3月
卒業生実績

作 業 療 法 学 科

イムス板橋リハビリテーション病院/イムス横浜狩場脳神経外科病院/イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院/医療生協さいたま生活協同組合/五反田リハビリテーション病院/東京品川病院/横浜旭中央総合病院/赤羽リハビリテーション病院/江田記念病院/大内病院/鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院/関東病院/済生会東神奈川リハビリテーション病院/埼玉みさと総合リハビリテーション病院/品川リハビリテーション病院/湘南慶育病院/慈雲堂病院/淵野辺総合病院/船橋市立リハビリテーション病院/横浜市立みなと赤十字病院/台東区立台東病院/東邦大学医療センター大森病院メンタルヘルスセンター/中伊豆リハビリテーションセンター/初台リハビリテーション病院/原宿リハビリテーション病院/福井記念病院/横浜新都市脳神経外科病院 ほか

就職率

100%

2022年3月
卒業生実績

大学院

主な就職先 (過年3年間)

アイダエンジニアリング/アマダ/アリミノ/アルプスアルパイン/イーピーエス/インターネットイニシアティブ/ウェザーニューズ/H.U.グループホールディングス/NECフィールディング/NTTドコモ/NTTファシリティーズ/LSIメディエンス/KADOKAWA Connected/カブコン/キヤノンシステムアンドサポート/ケンコーマヨネーズ/湖池屋/コイズミ照明/小林香料/コルグ/サイバーエージェント/相模原市役所/三栄源エフ・エフ・アイ/GMOペパボ/芝浦機械/シミツク/JUKI/スクウェア・エニックス/スズキ/住友金属鉱山/セガ/セコムトラストシステムズ/総合警備保障/ソニー・エルエスアイ・デザイン/ソニーネットワークコミュニケーションズ/チームラボ/中外製薬工業/TDK/ディップ/テルモ/東海旅客鉄道/東京エレクトロン/東京電力ホールディングス/東芝テック/東和薬品/日本銀行/日本赤十字社/日本ハム食品/ニフティ/日本光電工業/日本電子/日本マクドナルド/原田工業/バンダイナムコミュージックメントラボ/ビー・エム・エル/東日本旅客鉄道/日立システムズパワーサービス/ヒノキ新薬/ヒビノ/富士通/Fringe81/フルヤ金属/ポーラ/本田技研工業/マイナビ/三菱電機ITソリューションズ/武蔵野フーズ/メイコー/ヤフー/ヤマト科学/有機合成薬品工業/ヨコオ/楽天グループ/リクルート/ルネサスエレクトロニクス ほか

就職率
93%

2022年3月
修了者実績

「コーポ実習」受入企業への就職実績 (2020年3月~2022年3月卒業生実績)

コーポ実習 受け入れ企業	学部/専攻						総計
	デザイン学部	応用生物学部	コンピュータサイエンス学部	メディア学部	工学部	バイオ・情報メディア研究科	
株式会社アイ・エヌ・シー・エンジニアリング				1			1
株式会社アイコーシステム				1	1		2
相田化学工業株式会社				2			2
株式会社アイチコーポレーション				4			4
株式会社アクティブフュージョンズ				1			1
アミノ化学工業株式会社						1	1
イチコーエンジニアリング株式会社				7			7
株式会社イムラ封筒			1				1
馬居化成工業株式会社				1			1
株式会社エイ・ビー・エム				1			1
株式会社エステック				1			1
大森機械工業株式会社				4			4
オグラ宝石精機工業株式会社				2			2
管清工業株式会社		1		2			3
株式会社菊池製作所				1			1
株式会社キャロットシステムズ				1			1
協伸サンテック株式会社		1					1
交通システム電機株式会社				1			1
株式会社コミット				1			1
株式会社サンテック				1			1
株式会社サンレック				1			1
株式会社JVCケンウッド				1			1
株式会社シャロン		1					1
新電子株式会社				2			2
株式会社ソノコム				3			3
第一硝子株式会社				1			1
大和化学工業株式会社				1			1
株式会社田坂精密				1			1
月島環境エンジニアリング株式会社				2			2
株式会社ティーツー				2			2
株式会社TBK						1	1
株式会社電子制御国際						1	1
東亜工業株式会社			1			3	4
東芝ITコントロールシステム株式会社						3	3
株式会社東洋ポデー						1	1
トランスコスモス株式会社			3	2	1		6
ニッカ株式会社						1	1
日建レンタコム株式会社						1	1
日興通信株式会社				2		1	3
日伸精機株式会社						1	1
日新電子工業株式会社						2	2
日綜産業株式会社						2	2
株式会社日本サーキット						1	1
日本サーモニクス株式会社						1	1
日本電子工業株式会社						1	1
日本電線工業株式会社						1	1
日本ミンコ株式会社						1	1
八紘テクノ株式会社						1	1
ハミルトン株式会社			1				1
株式会社ヒロオ						2	2
株式会社フェア						1	1
株式会社分析センター						1	1
三好化成株式会社							1
陸特殊金属工業株式会社						1	1
ヤマキ電気株式会社						2	2
ユメックス株式会社						1	1
株式会社ライトボーイ						2	2
株式会社LIGUNA						1	1
株式会社リベルタ			1				1
株式会社ルケオ						2	2
株式会社ワイエイシイデンコー						1	1
総計	1	5	5	3	82	1	102

東京工科大学卒業生 (OB・OG) 登録のお願い

東京工科大学もお陰様で2023年に創立37年を迎え、各分野で卒業生が活躍しております。しかしながら、ご採用いただいた企業様、本学卒業生と在学生の係わりはまだまだ少ないと感じております。そこで、今後のご縁を長くいただきたいとの考えもあり、貴社にて活躍中の卒業生と在学生との係わる機会を増やしたいと考えております。貴社ご採用担当様と一緒に、または卒業生だけでも、ご協力いただき、卒業生からのアドバイスや講演、模擬面接、業界セミナー、企業見学、OB・OG訪問、コーポ実習etcでご協力いただければと存じます。イベント毎に、適任な業種・職種の企業様(卒業生)へお声掛けし実施したいと存じます。連絡の際は、登録いただきました担当様へご連絡を申し上げます。また、卒業生の業務に支障が無いよう配慮いたします。是非、下記サイトの「OB・OG登録フォーム」よりご登録いただければと存じます。「東京工科卒業生(OB・OG)登録用紙」をダウンロードいただき、必要事項をご記入いただきご登録いただくことも可能です。主旨ご理解の上、ご協力の程宜しくお願いいたします。

東京工科卒業生 (OB・OG) 登録掲載先

東京工科大学HP→採用担当の方→求人申込み、卒業生「OB・OG」登録のご案内
<https://www.teu.ac.jp/employment/006472.html>

お申込みは、「OB・OG登録フォーム」よりご登録いただくか、登録用紙をメールでお送りください。

登録用紙送付先

メールアドレス: jm-qjin@stf.teu.ac.jp
件名は、「東京工科大学OB・OG登録」でお送りください。

OB・OG登録に関する問い合わせ先

東京工科大学 蒲田キャンパス キャリアサポートセンター TEL. 03-6424-2121

